

SOL-0002-2104

# LAゴム揮発油(G)

## ゴム溶剤および塗料希釈用溶剤

LAゴム揮発油(G)は芳香族含有量を選択的に減らし、しかもゴムに対する溶解性能を保持させたゴム工業用溶剤です。LAゴム揮発油(G)は第3種有機溶剤に該当するため、労働安全衛生面からいっても、より安全性の高い溶剤です。

### ●特長

#### 1. LAゴム揮発油(G)は第3種有機溶剤に該当する溶剤です

ベンゼンを1vol%未満、(ベンゼン、トルエン、キシレン、ノルマルヘキサン)の合計を5mass%以下にした溶剤で、労働安全衛生面で、より安全性の高いゴム揮発油です。

#### 2. LAゴム揮発油(G)は溶解性の優れた溶剤です

溶解性のよいナフテン系炭化水素比率を多くし、溶解性の悪いパラフィン系炭化水素を減らしたもので、優れた溶解性をもつ溶剤です。

#### 3. LAゴム揮発油(G)の沸点範囲は従来のゴム揮発油と同様です

ゴム揮発油はゴム加工後に適度の揮発性が要求されますが、LAゴム揮発油(G)は従来のゴム揮発油と同様の沸点範囲を有しており、ゴム加工用としてすぐれた揮発性を有しています。

#### 4. LAゴム揮発油(G)の揮発油税上の特定用途免税について

LAゴム揮発油(G)は、原則として揮発油税の課税対象ですが、天然ゴムを100mg/100ml添加し、特定用途(ゴムの溶解用・接着剤の製造用)に関しては、所定の手続きで免税扱いになる規格に適合しています。

### ●用途

ゴム工業溶剤、接着剤用溶剤など

### ●荷姿

ローリー、200lドラム

### ●LAゴム揮発油(G)の代表性状


		代表性状	規格値
密度(15℃)	g/cm <sup>3</sup>	0.746	報告
蒸留性状			
初留点	℃	82	80以上
10%	℃	84	
50%	℃	90	120以下
90%	℃	103	140以下
97%	℃	112	
終点	℃	124	155以下
アニリン点	℃	47	40~50
ゴム分	mg/100ml	106	100~112
反応分		中性	
ベンゼン	vol%	検出限界以下	1.0未満
トルエン	mass%	0.5	
キシレン	mass%	0.2	
n-ヘキサン	mass%	3.0	
消防法危険物分類		第1石油類	

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2013年2月)



# 取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	石油系炭化水素
絵表示：	
注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	引火性の高い液体及び蒸気 皮膚刺激 眼刺激 発がんのおそれの疑い 臓器(肺, 腎臓)の障害 呼吸器への刺激のおそれ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(神経)の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(血管)の障害のおそれ 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ 水生生物に有害 長期継続的影響によって水生生物に有害
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none"><li>・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</li><li>・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。</li><li>・眼に入れないこと。飲み込まないこと。</li><li>・熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。</li><li>・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。</li><li>・環境への放出を避けること。</li><li>・容器を接地すること/アースをとること。</li><li>・火花を発生させない工具を使用すること。</li><li>・静電気放電に対する予防措置を講ずること。</li><li>・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</li><li>・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。</li><li>・容器を密閉しておくこと。</li><li>・取り扱い後はよく手を洗うこと。</li><li>・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。</li></ul>
応急措置	<ul style="list-style-type: none"><li>・飲み込んだ場合：無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。</li><li>・ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。</li><li>・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</li><li>・気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。</li><li>・皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。</li><li>・汚染された衣類を脱ぐこと。</li><li>・皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。</li><li>・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</li><li>・眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。</li><li>・火災の場合：消火するために有効な消化剤を使用すること。</li></ul>
保管	<ul style="list-style-type: none"><li>・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。</li><li>・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。</li><li>・施錠して保管すること</li></ul>
廃棄	<ul style="list-style-type: none"><li>・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。</li><li>・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。</li></ul>